



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 アジアグロースキャピタル株式会社
 コード番号 6993 URL <http://www.agcap.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 浩平
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岩瀬 茂雄 TEL 03-3448-7300
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万未満切捨て

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,868	—	556	—	678	—	251	—
25年3月期第3四半期	316	0.5	△255	—	△106	—	△108	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 441百万円 (-%) 25年3月期第3四半期 △111百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	4.52	4.30
25年3月期第3四半期	△3.14	—

当社は、平成24年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	9,844	4,566	4,566	26.9	26.9	39.74
25年3月期	2,030	1,570	1,570	76.6	76.6	33.81

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,646百万円 25年3月期 1,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,163	—	1,197	—	1,188	—	309	—	5.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）(株)ディーワンダーランド、(株)大黒屋
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	66,607,616株	25年3月期	46,007,616株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	7,662株	25年3月期	7,602株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	55,521,067株	25年3月期3Q	34,604,931株

当社は、平成24年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日)におけるわが国経済は、政府・日銀の財政金融政策を背景とした円安・株高の進行により、景気回復への期待が高まっております。しかし、世界経済を巡る不確実性を背景とした景気の下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループの電機事業の属する電機事業業界は、震災を機に最終ユーザーによる設備点検・強化に伴う製品の発注並びに省エネ需要を背景としたLED関連製品需要の顕在化により、売上高は回復基調にあるものの、長期にわたる産業用の設備投資の抑制による受注低迷に加え、資材価格や物流経費の上昇、市場規模が小さい中で厳しい価格競争により収益的に厳しい環境が続いており、当社としても数年来合理化や製品原価の低減をはじめとする諸施策に鋭意取り組んでまいりましたが、長期的な低迷から脱することが困難な状況にあります。

他方、平成25年9月20日から平成25年10月21日の間に、以前より株式の38.6%を所有し持分法適用会社としていたDWの株券等に対する公開買付けを行い、同年11月5日にDW株式1,500,000株(発行済株式総数の4.1%)を取得いたしました。この結果、当社グループのDW株式の所有比率が42.7%となり、実質的支配力基準に鑑み、当第3四半期連結会計期間より、DW及びDWの完全子会社である大黒屋を連結子会社といたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前第3四半期連結累計期間に比べ大幅に増加し、利益面につきましても増益となっております。なお、大黒屋の属する中古品小売業界は、消費者の低価格志向が高まる傾向にあるとともに、インターネットを利用した中古品売買が急速に普及・拡大しており、同業他者間での買取・販売における競争激化が一層加速する状況となっております。

このような状況のもとで、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,868百万円(前年同期比1,439.9%増)、営業利益556百万円(前年同期は営業損失255百万円)、経常利益678百万円(前年同期は経常損失106百万円)、四半期純利益251百万円(前年同期は四半期純損失108百万円)の黒字となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、大黒屋の営む質屋、古物売買業の業績につきましては、当第3四半期連結会計期間以前において持分法による投資損益として投資事業の業績として把握しておりましたが、当第3四半期連結会計期間における大黒屋の連結子会社化に伴い、質屋、古物売買業の業績として把握することといたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①電機事業

電機事業においては、適正な利益を確保すべく抜本的な事業の見直しに着手し、顧客に対して製造原価上昇分の販売価格への転嫁を行い、また、製品別の利益率の改善を進めるとともに、顧客の節電対応により需要が顕在化しているLED製品の新たな販路の開拓に努め、利益率の更なる改善を図っております。

これらの施策の効果も出始め、電機事業全体の売上高は320百万円と前年同期に比べ1.5%増加となり、売上総利益は96百万円と前年同期に比べ47.8%増加致しました。製品群別には、産業用照明機器群におきましては、売上高271百万円(前年同期比0.3%減)、電気工事材群におきましては、売上高0百万円(前年同期比96.7%減)、制御機器群におきましては、売上高48百万円(同25.0%増)となりました。

②質屋、古物売買業

質店・中古ブランド品売買の最大手である大黒屋は、円安に伴う外国人観光客等による免税売上の増加や既存店舗の増床効果により売上は順調に推移し、当第3四半期連結累計期間において、売上高は13,828百万円(前年同期11,654百万円より18.7%増加)と前第3四半期連結累計期間より大幅に増加し、また、利益面につきましても営業利益2,325百万円(前年同期1,807百万円より28.7%増加)、経常利益1,886百万円(前年同期1,332百万円より41.6%増加)、税引後利益1,146百万円(前年同期506百万円より126.3%増加)と前第3四半期連結累計期間に比べ増益となりました。この結果、平成25年4月～9月において、262百万円の持分法投資利益を計上し、平成25年10月～12月において、質屋、古物売買業における売上高4,547百万円、営業利益741百万円、経常利益603百万円を連結業績に取り込んでおります。(なお、上記の営業利益、経常利益及び税引後利益については、連結(平成25年4月～9月の6ヶ月間は持分法)の適用に伴う一定の調整を加えた後の金額となっております。)

(2) 財政状態に関する説明

上記のとおり、当第3四半期連結会計期間より、DW及びDWの完全子会社である大黒屋を連結子会社といたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産は、前連結会計年度末に比べ大幅に増加しております。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、7,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,309百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が1,298百万円、売上債権が2,133百万円、商品及び製品が3,300百万円、預け金450百万円増加したことによるものであります。固定資産は、2,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ505百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が750百万円、無形固定資産が764百万円増加し、投資その他の資産が1,009百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、9,844百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,814百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、5,056百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,686百万円の増加となりました。これは主に1年以内に返済される借入金4,272百万円、賞与引当金が49百万円、未払法人税等が155百万円増加したことによるものであります。固定負債は、221百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円の増加となりました。これは主にポイント引当金が85百万円、退職給付引当金が35百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,818百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,996百万円の増加となりました。これは主に新株予約権の行使824百万円、四半期純利益251百万円及び少数株主持分の増加1,920百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は26.9%（前連結会計年度末は76.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月22日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、株式会社ディーワンダーランドは、当社が実施した公開買付けにより子会社となったため、同社及びその連結子会社である株式会社大黒屋を持分法適用の範囲から連結の範囲に変更しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,317	1,379,767
受取手形及び売掛金	186,670	569,485
営業貸付金	—	1,750,695
商品及び製品	17,200	3,317,716
仕掛品	35,747	28,160
原材料及び貯蔵品	69,074	53,697
預け金	—	450,009
その他	13,693	165,725
貸倒引当金	—	△2,378
流動資産合計	403,703	7,712,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	116,627	840,088
減価償却累計額	△75,263	△499,995
建物及び構築物（純額）	41,363	340,092
機械装置及び運搬具	128,019	139,828
減価償却累計額	△126,002	△138,313
機械装置及び運搬具（純額）	2,016	1,514
工具、器具及び備品	185,768	621,802
減価償却累計額	△184,694	△545,734
工具、器具及び備品（純額）	1,074	76,067
土地	13,640	390,971
有形固定資産合計	58,094	808,646
無形固定資産		
のれん	—	670,631
その他	3,776	97,353
無形固定資産合計	3,776	767,984
投資その他の資産		
投資有価証券	1,547,525	36,694
敷金及び保証金	16,644	486,793
長期滞留債権	199,000	—
その他	14,831	34,493
貸倒引当金	△213,302	△2,640
投資その他の資産合計	1,564,698	555,341
固定資産合計	1,626,569	2,131,973
資産合計	2,030,272	9,844,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,067	106,898
短期借入金	170,000	37,000
1年内返済予定の長期借入金	—	4,405,843
賞与引当金	—	49,293
未払法人税等	8,623	163,756
その他	81,118	293,443
流動負債合計	369,809	5,056,235
固定負債		
ポイント引当金	—	85,101
退職給付引当金	4,508	39,926
資産除去債務	15,485	14,888
その他	69,502	81,705
固定負債合計	89,495	221,621
負債合計	459,305	5,277,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,362,399	738,214
資本剰余金	2,140,050	419,825
利益剰余金	△2,947,381	1,487,845
自己株式	△1,574	△1,577
株主資本合計	1,553,493	2,644,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,822	2,455
その他の包括利益累計額合計	1,822	2,455
新株予約権	15,651	—
少数株主持分	—	1,920,231
純資産合計	1,570,967	4,566,996
負債純資産合計	2,030,272	9,844,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	316,176	4,868,697
売上原価	251,043	3,381,569
売上総利益	65,132	1,487,128
販売費及び一般管理費	320,640	930,568
営業利益又は営業損失(△)	△255,507	556,559
営業外収益		
受取利息	75	34
受取配当金	179	174
持分法による投資利益	158,905	262,750
その他	7,780	5,702
営業外収益合計	166,941	268,661
営業外費用		
支払利息	17,806	146,520
その他	—	190
営業外費用合計	17,806	146,710
経常利益又は経常損失(△)	△106,372	678,510
特別利益		
固定資産売却益	—	5,207
特別利益合計	—	5,207
特別損失		
減損損失	—	3,408
特別損失合計	—	3,408
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△106,372	680,310
法人税、住民税及び事業税	2,427	163,739
法人税等調整額	—	75,607
法人税等合計	2,427	239,346
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△108,799	440,963
少数株主利益	—	189,798
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△108,799	251,165

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△108,799	440,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,882	612
持分法適用会社に対する持分相当額	△523	271
その他の包括利益合計	△2,405	883
四半期包括利益	△111,205	441,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,205	251,799
少数株主に係る四半期包括利益	—	190,047

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社は、平成25年6月27日開催の定時株主総会の決議に基づき、平成25年7月31日付で、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金を2,044,011千円、資本準備金を2,140,050千円減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を4,184,061千円減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

また、当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が419,825千円、資本準備金が419,825千円増加し、この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が738,214千円、資本剰余金が419,825千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	電機事業	質屋、 古物売買業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	316,176	—	316,176	—	316,176	—	316,176
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	316,176	—	316,176	—	316,176	—	316,176
セグメント利益 又は損失(△)	23,379	—	23,379	△4,757	18,621	△274,129	△255,507
その他の項目 持分法投資利益 又は損失(△)	—	199,704	199,704	△40,798	158,905	—	158,905

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業及び不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△274,129千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	電機事業	質屋、 古物売買業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	320,795	4,547,529	4,868,325	372	4,868,697	—	4,868,697
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	320,795	4,547,529	4,868,325	372	4,868,697	—	4,868,697
セグメント利益 又は損失(△)	61,900	732,622	794,523	△34,258	760,264	△203,704	556,559
その他の項目 持分法投資利益 又は損失(△)	—	279,959	279,959	△17,209	262,750	—	262,750

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業及び不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△203,704千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期会計期間より、株式会社ディーワンダーランド及びその完全子会社である株式会社大黒屋を連結の範囲に含めたことに伴い、従来、投資事業として業績把握を行っていた「質屋、古物売買業」を新たに報告セグメントに加え、報告セグメントとしていた「投資事業」を「その他」の区分へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ディーワンダーランド及びその完全子会社である株式会社大黒屋を連結の範囲に含めたことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「質屋、古物売買業」セグメントにおいて8,846,803千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「質屋、古物売買業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社大黒屋を連結子会社といたしました。当第3四半期連結累計期間における当該事象によるのれんの増加額は670,631千円となります。